

花 無 心

第 285 号ダイジェスト版 2024 年 11 月発行

ひきこもり家族自助会とやま大地の会(設立 2001 年 3 月)

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

♪♪ 例会のおしらせ ♪♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。
能登半島地震の影響により、**会場が変更になっています**。今後も変更点がある場合がありますので、
参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

12 月 21 日(第 3 土曜日) 第 286 回例会 13:30 ~
富山市舟橋北町 7-1 富山県教育文化会館 504 号研修室
01 月 18 日(第 3 土曜日) 第 287 回例会 13:30 富山県民会館 509 号研修室
02 月 15 日(第 3 土曜日) 第 288 回例会 13:30 富山県教育文化会館 502 号研修室
03 月 15 日(第 3 土曜日) 第 289 回例会 13:30 場所は未定です。

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)
非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。
駐車場について … 会館近く北東側に会館の駐車場があります。

- ◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。
- ◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。
- ◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>



本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

♪ 11 月例会報告 ♪

日 時: 11 月 11 (土) 13:30~15:30 富山県教育文化会館 502 号室
参加者: 15 名(男性 5 名 {内体験者 1 名}、女性 9 名 {内体験者 1 名}) のご参加がありました。
例会の始めに、保科さんのハーモニカ演奏にあわせ、『故郷の空』・『山のロザリア』・『肩たたき』
を歌いました。

I あいさつと諸連絡

今月もご参加ありがとうございます。また、例会の場でなくても、連絡を取り合い、困りごと、嬉しかったことなど、交流できることを願っています。

10 月の県のボランティア大会で、会員の K さんが、功労表彰を受賞されました。会の会計や会場予約を担当され、厳冬期にも、雪が降る寒い中、早朝から並んで会場を確保していただくなど、長年にわたり会の運営を支えていただきました。おめでとうございます。

【12 月例会・ミニ講演のご連絡】

【日時】12 月 21 日(土) 13:30~ 【会場】富山県教育文化会館 504 室

【講師】とやま大地の会 保科 勝文さん

講演テーマ「元気なうちに伝えておきたい事(伝言メモ)」です。

II いつもの話し合い

全体会では、

*年齢的危機感から、自分が亡くなったときに息子に何を伝えておかなければならないか。もし、できないときは、身近な所への問い合わせ先などをどう具体的に残せばよいかを本人の対応力とサポートしてくれる人に向けての伝言メモ作った。これを 12 月の例会で発表したいと思っています。

- *本人への接し方がむづかしい。しゃべり過ぎて子に叱られたりするので、子が嫌がるようなことをしゃべらない。子分かっているが、実際にはなかなか難しい。
- *娘と二人で夜、散歩している。6ヶ月ほど続いている。とにかく続けていこうと思っている
- *会社の健診で、メタボとの結果をみて、スポーツジムに通っている。結構疲れている。祖母の見舞いにいき、親亡き後の話も親としておこななければと感じた。
- *今日で2回目の参加。子はほとんど変わったことはない。ただ最近、公開講座に週一回、通うようになった。話を聞いても、「別に・・・」と言うので、とりとめのない話しかできない。
- *マフラーの手作りを始める。学童保育の手伝いに行っているようだ。日常会話なら話はあるが、欲を出さずに見守っていこうと思う。
- *子は仕事を辞め探していたが、なかなか採用されず。気をつかって生活している。母親である自分自身を責めてしまう。
- *家では平穏であるが、年々これではダメだなと思うようになる。今、思い悩んでいる。
- *かわりばえない。「あーしておけばよかった。こうしておけばよかった。」と過去を思っても仕方がない。今現在、無事に生きていてくれることに、ありがたいと思っている。
- *会話もなくぜんぜん変わっていない。太ってしまい、2か月ほど前よりダイエット。食事もお肉くなくないものも作っているが、自分で決めている食事しかしない。会話の糸口がぜんぜんない。
- *先日、息子と親亡き後の生活のことについて話し合おうとしました。あまり話し合いということにはならず、少し気まずい雰囲気になっています。
- *手帳の話、身近な相談先として、大地の会にも分かる方がおられ、力になってもらえます。この会はみんなで力を合わせあう会です。すぐに答えは出せなくても、一緒になって考えましょう。

***先日金沢であった全国家族会連合会の大会の参加報告。(会員の関本さんより)**



本部役員の女性の体験を聞き感動しました。その概要です。

「息子さんが中学の時、皆の前でいじめにあい、それ以来20年間、部屋にこもり、親とも会わない生活になった。

ある日、物音がし、息子が倒れたと直感し救急車を呼び、病院に入院。医師より脳が白くなっている写真を見せられ、覚悟するよう言われたが、20年間こもった部屋からやっと外に出られた待ちに待った機会。

「これからなんだ。」と医師に訴え、病院に通い続けた。医師よりお母さんが来ている時は、息子さんの脈が安定していると聞かされ、毎日病院で、手などをさすり名前などを呼びかけ続けた。集中治療室から出られるようになり、意識も戻り、退院。高次脳機能障害を負ったが、現在はグループホームで生活できるようになり、ヘルパーさんがついて買い物も楽しんでいる。いつか必ず部屋から出る機会はあると待っている。それが究極の“待ち”であっても、それを“前向きの機会”と捉えることのすごさ、それに応えようとするときの生命のすごさにも感動しました。

グループ交流

A班(9名) 初参加の方もあり、皆さまで近況交流をしました。

- ・子は、自転車で、市内の図書館や本屋に行っている。
- ・(経験者)今、働いているが、週に2日(水曜、土曜)に休みをもらっている。職場は、大学生から60代の方まで、幅広い年代が働いている。
- ・子は家族のコロナ感染症がうつり、熱がでたが病院に行かなかったが、自宅療養して回復した。
- ・(初参加)・・・(初めての例会参加でしたが、ご家族のことをたくさん話されました)
- ・(当事者)ひきこもっていた頃、自分も、生きることが苦しく、家族にあたるのが時々あった。
- ・子が家から出ることができなかった頃は、友人にも話せなかった、先ほどの方の話は、自分自身の経験と重なる。

B班(6名) 8050「親の資産だけで生き抜けないときの生活保護の知識」を話し合いました。

概要：1：生活保護制度

生活に困窮者に、必要な保護と健康で文化的な最低限度の生活を保障し自立を助長する。

保護の種類には、生活扶助・教育扶助・医療扶助・介護扶助など8つあります。

2：生活保護を受ける際に問題になるケース

自宅以外の建物などは原則処分を。3親等内の親族に扶養の照会がなされる。

3：生活保護でもらえる金額の目安

単身者は10～13万円/月、最低金額での試算・95,560円/円。

4：申請のタイミングいつ頃すれば！？

貯蓄が5～7万円くらいまでに減ったタイミングで速やかに申請を。

話し合い：

- ・日本は“弱者支援”ですが、外国では、“弱者にならないための支援”をしています。
- ・相談する場合何処へいったら良いですか？
⇒ 市の地域包括支援センターが良いと思います。
- ・相談する場合の費用は？
⇒ 弁護士会では30分で5千円、市役所は無料だと思います。
- ・以前この会でも困っている方がおられ、それに詳しい方もおられたので、詳しい方の支援で手続きが出来たことがあります。



Ⅲ その他

- 1 例会では、十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみなど体験発表をしてみませんか？約 20 分間程度を予定しています。
- 2 投稿欄について
会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

グループ相談を実施しています。

- ・本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

Ⅳ 高岡つくしの会より（2003年設立）

12月、1月、2月の予定

月例会

12月8日（日）

場所：高岡市博労公民館 1:30より

1月例会は休みます。

2月9日（日）12:30より（13:00より新年顔合わせ会）

おとぎの森定例会

12月11日（水）、1月25日（土）、2月19日（水）、2月22日（土）

場所：おとぎの森こどもの家 2:00より

- ・高サポ：きままスペース 毎週木曜日14:00～ 高岡地域若者サポートセンター
- ・高岡市役所福祉課祖横断受付・福祉連携推進室（ひきこもりに関する複合的相談）

Ⅴ 書籍・論文の紹介

不登校を考える 東葛の会『ひだまり』ニュース 11月号 第336号

東葛の会は、千葉県流山市で、子どもの居場所、親の会、講演会などを続けています。

9月講演会は、片岡洋子先生（千葉大学名誉教授）の講演会「不登校・子どもの心をどう理解しますか」を開催され、講演要旨が『ひだまり』ニュース10月号、11月号に連載されています。